



学校だより

上小岩



令和8年 4月 30日

NO.2

江戸川区立上小岩小学校

校長 宮本 知司

支えあいの中で育つ、子供たちの心

副校長 岩崎 保佳

新年度がスタートして1か月。子供たちは、新しい学年やクラスにも慣れ、落ち着いて学習や生活に取り組む姿が見られるようになりました。

新学期スタート以来、保護者の皆様には登校の見守りや日々の健康管理、そして地域の皆様には子供たちの安全な登校や放課後の活動を支えていただき、心より感謝申し上げます。改めて、学校は、皆様の温かいご支援があって初めて子供たちが安心して学べる場となることを実感しています。



図書ボランティアさんによる学校図書館前掲示

4月、最高学年の6年生は、朝、1年生の教室で優しく準備を手伝ったり、委員会活動で学校をよりよくするために話し合ったりと、その姿は、まさに学校のリーダーそのものでした。さくらんぼ(たてわり班活動)や全校遠足では、一緒にゲームやオリエンテーリングを楽しみながら、4・5・6年生が下級生を優しくリードしていました。2年生は、新1年生を連れて校内を案内する「学校探検」で、「ここが職員室だよ。」「迷子にならないでね。」と優しく手を引いている姿がほほえましかったです。



自分より小さな存在を思いやり、教え、支える経験を通して、自信が芽生えています。このように上級生が下級生を支え、それを受けた下級生がまた次へと繋いでいく。こうした支えあいの「心のバトン」がつながる学校でありたいと考えます。地域の皆様、保護者の皆様には、学校の外でも頑張っている子供たちを見かけましたら、ぜひ「頑張っているね。」と温かな声をかけていただければ幸いです。

さて、5月は、道徳授業地区公開講座や体育学習発表会があります。どの授業、どの行事でも一人一人の子供たちの主体性を生かしつつ、『元気な心』、『元気な身体』、『元気な頭』、『元気な気持ち！』を育ててまいります。また、目標に向かって考えたり、努力したりする過程で、仲間と協力し、励まし合い、時にはぶつかり合う経験を通して子供たちが一回り大きく成長するよう、教員一同指導してまいります。

参観の際には、結果だけでなく、そこに至るまでの子供たちの努力や、先生たちとの温かきやり取りにも、ぜひ注目してください。皆様の温かな眼差しが、子供たちと先生にとって何より励みになります。

また、ゴールデンウィークが明けると、体育学習発表会に向けた授業が本格的に始まります。子供たちの表情や体調の変化を丁寧に見守ってまいります。ご家庭におかれましてもお子さんの頑張りを温かく励ましていただきつつ、十分な休息と睡眠を心がけていただけますようお願いいたします。

気になることやご心配なことがあれば、いつでも遠慮なく学校までお知らせください。今月も皆様の温かきご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。